

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 足利市立山辺中学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例：小中高一貫)
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 326 - 0837
栃木県足利市西新井町3157

E-mail yamabeh@ashi-s.ed.jp
Website http://yamabeh.ashi

幼児児童生徒数 男子 326名 女子 328名 合計 654名
幼児・児童・生徒の年齢 12歳 ~ 15歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、環境学習に関心をもち、環境に対する人間の責任と役割を理解し、環境保全活動に参加する態度、及び環境問題解決のための能力を育成し、「美を愛し、心の響く生徒」を育てることを目標としている。

具体策としては、以下の内容の通りである。

- (1) 毎日の清掃を充実し、校舎内外の環境整備、美化、緑化に努める。
- (2) 生徒会本部・各種委員会(環境、清美、緑化、新聞・掲示)と連携し、学校環境づくりをする。
- (3) 学級における係活動を充実させ、教室環境の整備をする。(電気係・環境整備係などを位置づける)
- (4) 環境学習や環境保全活動を積極的にすすめるための実践を紹介したり、実際に体験させたりして環境を保全しようとする心を養う。
 - ・体験を重視すること
(足尾体験植樹、校内資源回収などの奉仕活動)

- ・地域に根ざし、地域から広がるものであること
(足尾環境学習センター見学)
- ・目的を明確にし、総合的に行うこと
(本校の実態把握からの節電, 節水運動など)
- ・省エネ関係のモニター及び掲示板を活用した活動報告や呼びかけ
- ・環境学習に関するパンフレットの活用(会議室:総合的な学習の書架に置く)
- ・校内のごみの資源化を促進し、ごみの減量・分別意識の高揚を図ること
(資源回収率 100%を目指す)
 - ①古紙・新聞紙・ペットボトルキャップ
→教室:専用ストッカーを設置し回収、定期的に環境委員会でとりまとめる
 - ②段ボール→アクティブラインルームで回収
 - ③ペットボトル・空き缶→職員室ベランダ:中を洗浄
- (5) 各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の目標や内容と環境にかかわる内容とを関連づけるとともに、環境に積極的に働きかけ、環境問題を解決できる能力の育成をはかる。
- (6) ESD(持続発展教育)の環境保全・エネルギーの分野を担う。
- (7) ユネスコスクール加盟校として、山辺中の取り組みの様子を適宜発信する。

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野(複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育(GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力(複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他（自由記述 _____）	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

特にありません。

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

（特別活動）

- ・平成 29 年度足尾植樹体験活動

参加人数（生徒 38 名 引率教員 3 名 計 41 名）

足尾で植樹活動に取り組んでいる方々がなぜ木を植えているのか、足尾で起きた環境破壊などについて足尾環境学習センターで学習する。

足尾での植樹体験を通して、地球環境について体験的に学び環境保全への意識を高める。

（総合的な学習の時間 2 時間対応）

- ・ソーラークッカー調理体験学習会（第 2 学年）

災害時におけるソーラークッカーの利用の有用性を学ぶとともに、発展途上国など無電化地域での利用の現状と実用化に向けた取り組みを知る。

③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。(200字程度)

※チェック事項 1-4 に対応

生徒会の各委員会ごとの活動により、環境保全活動を横断的に実施している。

- ・ 環境委員・・・ペットボトルキャップ、古紙、新聞紙などの回収。
- ・ 緑化委員・・・花壇の手入れ、水やり、花植え活動、緑のカーテン。
- ・ 福祉委員・・・書き損じはがきの回収、リサイクル活動。

また、これらの活動を各学年、各学級にも反映させ、学校全体としての取り組みとできるように努力している。

④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価(内部/外部)の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。(200字程度)

※チェック事項 1-5 に対応

○ 成果

- ・ 足尾植樹体験を通じて、多くの生徒が環境問題について深く考える機会を作ることができた。
- ・ 古紙回収、キャップ回収、はがき回収などのリサイクル活動を学校全体で取り組むことができた。

○ 課題

- ・ 清掃指導を充実させ、清掃の時間をより充実させたい。
- ・ 5S活動をより意識し、校内環境や教室環境を整えたい。

⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度)

※チェック事項 2-2 に対応

本年度は、特に活動成果を発信できなかった。
次年度は、学校HP等を利用して外部発信をしていきたい。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）
（200字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

足利工業大学工学部中條佑一教授をはじめ、足利市生活環境部環境政策課エネルギーチームを講師として招き、ソーラークッカー調理体験学習会を行った。災害時におけるソーラークッカーの利用の有用性を学ぶとともに、発展途上国など無電化地域での利用の現状と実用化に向けた取り組みを知ることが目的としている。太陽光という自然の力を利用して、ゆでたまご調理体験を行うことで、生徒たちは、環境保全やエコ活動について考えることができた。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

※チェック事項 2-4 に対応

特に実施していない。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

※チェック事項 2-5 に対応

8月に行った足尾植樹体験では、現地に赴き、講話や資料見学を通じて、過去に起きた環境問題の実態を知ることができた。その上で、目的意識を高め、植樹体験を行うことができたことが生徒にとって環境について真剣に考える良い経験になった。その経験を生かし、校内での緑化活動や環境保全活動を意識的に行い、環境保護を進めていけるようにしていきたい。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

・特別活動

各種専門委員会における活動を通じて、環境保全活動を横断的に実施する。

・総合的な学習の時間

ソーラークッカー調理体験学習会の実施し、ソーラークッカーの利用の有用性を学ぶとともに、発展途上国など無電化地域での利用の現状と実用化に向けた取り組みを知り、環境保全やエコ活動についての意識を育む。